



第377号 平成21年12月1日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町601-1 こどもみらい館 2階  
TEL (075) 256-0351  
FAX (075) 241-3568  
発行人 長村吉朗

## 京都市立学校における学級閉鎖の状況 3

会長 長村吉朗

この原稿は、10月号、11月号に引き続き京都市立学校におけるインフルエンザによる学級閉鎖の状況を勝手な予測をまじえて掲載いたします。なお、この記載は前号に続き11月9日から記載しております。

表1に京都市立学校における学級閉鎖状況を掲載いたします。これはその日に学級閉鎖を決めた学校の数ではなく、その日に閉鎖している学校数と学級数を示します。

次に、表2に京都市立学校のインフルエンザ感染および発熱による欠席者の状況を示します。これは学校に連絡があった、もしくは把握できているインフルエンザ、インフルエンザの疑いおよび発熱による欠席者（発熱の基準は決めておりません）の総数であり、学級閉鎖を行っている分の感染者数は把握できないため、実際はさらに多いものと思われます。しかしながら現在インフルエンザの患者数報告は定点医療機関からの集計のみの推測値であり、市立学校約10万人の感染状況の集計を行っているところは他にはないと思われ、非常に貴重なデータです。実際はもっと詳しいデータがありますが、私の考えつく限界を超えてます。何か良い着眼点があれば、お教えいただきますようお願いいたします。

**11月9日記** 立冬も過ぎ、例年ですと本格的なインフルエンザの時期が迫ってきます。

ここで京都新聞の記事を転載します。11月6日夕刊1面の記事です。

### 新型インフル延べ3万1350人欠席

京都市は6日、新型インフルエンザ対策本部会議を開き、市立の中高や幼稚園など全286校（園）で感染が発生し、延べ欠席者数は約3万1350人に上ったことが報告された。流行が始まった8月17日から11月5日までの累計。感染者の実人数は不明だが、市内全域で感染が拡大している実態が分かった。小学校は179校全てで感染者が出ており、延べ欠席者数は2万656人。中学校は75校中71校で9185人だった。高校は12校中10校で1327人、幼稚園は16園中12園で110人、総合支援学校は全7校で72人。休校は6校（園）、学年閉鎖は81校（園）120学年、学級閉鎖は175校621学級だった。障害者施設と児童福祉施設、老人福祉施設では全体の約4割にあたる258施設で感染が確認され、利用者の延べ欠席人数は8341人だった。本部長の門川大作市長は「決して油断することなく、『うつらない』『うつさない』の取り組みの徹底をお願いしたい」と述べた。厚生労働省によると、全国で10月31日までの1週間に、私立を含む学校（園）と保育所約1万8千施設で休校や学年・学級閉鎖があり、約29万人の感染者が出た。東京都や大都市圏を中心に子どもの感染が広がっているという。

(小野俊介)

私の読みにくい文章との比較はやめて、内容を見ていきましょう。中学・高校に感染報告が出ていない学校がある中で、小学校は全校で報告が出ていま

す。幼稚園は比較的規模が小さい園もあるためかとも思いますが感染報告が出ていないところがあり、最も感染しやすい年齢は多くの先生方が感じていられるように小学校なのかも知れません。又延べ欠席者数3万人余りを一人が4日休むと仮定（土・日の休みを考慮しました）しますと、約1万人弱が感染したと考えてもいいのではないでしょうか。全児童・生徒の約1割になります。これに対し理事会での多くの先生の感覚では、小学校では3割近くが感染しているとの感覚なのですが、いずれにせよ既にかなりの数の感染者が出ており、これら年代への予防接種の一日も早い実施が望れます。しかし現場では新型・季節型を含めインフルエンザの予防注射に伴い既に混乱が生じており、日程変更は難しいかも知れません。集団接種も考えましたが、これもいろいろな事情で困難です（事情をお知りになりたい方は、個人的におたずねください）。

#### 11月11日記 どうやら本当に感染数の増加に歯止め

表1 京都市立学校における学級閉鎖状況

日	8/ 24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
学校数	1	1	2	2	3	—	—	9	10	11	15	14	—	—	22	19	23	23	13	—	—	20	22	26	26	12	—	—	
閉鎖学級数	1	1	2	2	3	—	—	15	21	19	25	21	—	—	34	27	31	31	14	—	—	33	35	44	44	12	—	—	
日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
曜 日	祝	祝	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	
学校数	—	—	—	10	11	—	—	7	7	11	11	20	—	—	33	37	40	40	25	—	—	—	33	52	53	44	—	—	
閉鎖学級数	—	—	—	15	16	—	—	14	9	19	19	36	—	—	81	88	102	104	60	—	—	—	89	140	148	107	—	—	
日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
学校数	32	55	67	77	73	—	—	80	111	121	120	90	—	—	87	—	82	77	61	—	—	48	75	81	81	58	—	—	
閉鎖学級数	54	97	119	150	140	—	—	149	224	235	234	168	—	—	151	—	154	141	97	—	—	84	122	137	138	84	—	—	
日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
学校数	52	67	68	65	51	—	—	—	58	76	72	57	—	—	38	53	53	45	27	—	—	26	33	38	31	23	—	—	
閉鎖学級数	69	140	139	135	65	—	—	—	128	152	143	108	—	—	47	68	69	55	35	—	—	36	43	109	94	84	—	—	

めがかかったようです。しかし、後になってからただの踊り場だったとがっかりしないことを祈ります。11月30日から幼児・小学生低学年の新型インフルエンザの予防接種の前倒しが決定されました。供給量に不安はありますが、それ以降の感染拡大に期待し、今月はこのまま増えないで…。

**11月14日記** 広島で開催される第40回全国学校保健学校医大会に向かう前に記載しています。今週は学級閉鎖数、欠席児童数共に増加が見られず、広島でも少し落ち着いて話が聞けそうです。同じ気分を多くの先生方に感じていただきたいのですが、どのようにしてこの情報を届けすればいいのか…。校医ニュースでは遅すぎますし、僕の嫌いなメールしかないのかな…。悩みます。

**11月17日記** 感染報告数は減少しています。しかし閉鎖学級数が急増しています。これは総合支援学校の休校があったためで、全52クラスの閉鎖が効いています。ただ私の診療所の手応えでは、再度感染

者の増加が感じられるのですが…。

**11月20日記** 総合支援学校の休校も解け、学級閉鎖の数も減ってきました。3連休もあることですし、感染増加に歯止めがかかることを期待します。しかし変な予感がします、外れてほしい。

**11月25日記** 恐れていたことですが、休み明けに感染者数が急上昇しました。今週の動きが今後を予想する上では重要と考えます。

**11月27日記** 残念ながら欠席者数は1300名を超すあたりで推移しています。学級閉鎖は当初閉鎖がなかった伏見区に多く見られるように思います。結局皆が罹るまで終息に向かわないのですか。当たり前ですけど…。

**11月30日記** 今日から小児に対するワクチンの前倒し接種が開始されました。1医療機関に12月中に20本の供給量では、2回接種でわずか40人しか受けられません。外れた人は来年までどこにもないワク

チンを求めてあちらこちらに電話をかけまくることになります。電話番号が知られている忙しい医療機関に在庫があるはずもないのに…。ただ感染者数は減ってきてているようです。

**12月2日記** 学級閉鎖は本当に減少してきていると言つていいのではないですか。複数学級の閉鎖が明らかに減少してきています。ただ12月から罹患児童の集計方法が変更され、集計に少し手間取っています。ま、慣れれば元に戻るとは思います。

**12月4日記** 前日の欠席児童数の速報（暫定版では900人台だったのですが、確定では1120人になってしまった）が一月ぶりに千人を切りました。このまま収まってくれれば良いのですが。予防接種も前倒し接種が開始されましたが供給数が余りに少なく、ガダルカナルかインパール作戦のように弾が無くては戦えません。だけど、わずかに配られた貴重なこの弾は本当に敵に効くの？？

表2 京都市立学校のインフルエンザ感染および発熱による欠席者の状況

日	8/ 24	25	26	27	28	29	30	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数				13	24	—	—	37	31	30	43	53	—	—	61	55	61	56	64	—	—	69	57	54	62	65	—	—
欠席児童数				38	62	—	—	160	125	166	157	219	—	—	378	373	226	293	293	—	—	359	383	381	334	471	—	—

日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
曜 日	祝	祝	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日
学校数	—	—	—	91	80	—	—	70	76	69	76	76	—	—	84	92	104	89	99	—	—	—	117	138	129	142	—	—
欠席児童数	—	—	—	487	382	—	—	246	279	260	294	335	—	—	373	520	665	581	787	—	—	—	1106	891	803	978	—	—

日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	158	161	150	177	164	—	—	169	161	180	170	169	—	—	175	—	169	167	177	—	—	183	189	175	181	180	—	—
欠席児童数	1176	1370	1083	1289	1292	—	—	1550	1506	1422	1546	1633	—	—	1889	—	1309	1293	1412	—	—	1427	1478	1434	1291	1389	—	—

日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
学校数	171	171	173	167	179	—	—	189	176	171	183	—	—	172	198	188	200	198	—	—	179	183	195	202	203	—	—		
欠席児童数	1196	1143	1102	1193	1301	—	—	—	1765	1361	1340	1385	—	—	1091	1281	1066	1120	1081	—	—	1069	1084	1051	1026	991	—	—	

11月号の数字とは訂正箇所があります。

## 第40回全国学校保健・学校医大会に参加して

会長 長村吉朗

11月14日に広島県広島市で開催されました第40回全国学校保健・学校医大会の概要を報告いたします。当日の分科会並びにシンポジウムにつきましては、また別に報告される予定です。

なお、これに先立つ11月10日に当地に於いて開催されました第59回全国学校保健研究大会では残念ながら学校医会よりの受賞者はいませんでしたが、京都府網野町より徳山石夫先生が文部科学大臣表彰をご受賞されました。10日に新潟県民広島国際会議場で開会式が始まりました。民主党からの初めての川端文部科学大臣の出席を期待したのですが、代理の布村スポーツ・青少年局長と榎田広島県教育委員会教育長の挨拶に始まり、上納広島県副知事、秋葉広島市長の祝辞の後、被表彰者217名（内、学校医56名、学校歯科医40名、学校薬剤師19名他）の名前が順番に読み上げられ式典は2時まで行われました。ただ残念ながら火曜日開催のためかこれまでに比し極端に少なく、1/3程度しか本人の出席がありませんでした。その後2時からは、京都になじみ深い京都大学大学院教授 十一元三先生による「学校におけるメンタルヘルス」の記念講演がありました。翌11日は午前中に課題別研究協議会が開催され、例年通り10にも及ぶ課題別の発表を聞きました。課題は

例年通り「学校経営と組織活動」「保健学習」「保健指導」「心の健康」「性・エイズ教育」「健康管理」「歯・口の健康づくり」「学校環境衛生」「安全教育」「禁煙・飲酒・薬物乱用防止教育」と幅広いものですが、私はその中から健康管理をテーマとした第6分科会を聴講いたしました。

中2日空けて土曜日の14日にリーガロイヤルホテル広島で開催されました第40回全国学校保健・学校医大会には、演者の川勝顧問と本田先生（いずれも京都市立病院）、私と奥村、平位両副会長、林専務理事、新井眼科学校医会副会長、星谷、鈴木両耳鼻科医会理事、府医からは藤田理事、福田学校保健委員会委員長の計11名が京都から参加致しました。

大会のテーマは「地域ぐるみで支え合おう、子どもの健康と安全」、10時からの分科会報告では例年通り「からだ・こころ（1、2、3）」「耳鼻咽喉科」「眼科」の5分科会に分かれ協議の後、シンポジウム「学校現場における救急体制」－学校で子どもが突然倒れたら－に続き、茶道上田宗箇流家元 上田 宗間氏による「乱世が生んだ美－桃山武将茶人 上田宗箇－」の特別講演が行われました。

なお次回の学校医大会は11月20日に群馬県前橋市で開催と決定されました。

## 右京支部会報告

常任理事 井本雅美

去る9月12日（土）、「嵐山弁慶」にて右京支部会が開催されました。

当日は京都市学校医会々長の長村吉朗先生もご出席いただき、計19名の参加でした。

支部活動、会計報告に続き、長村先生より今後の取り組みについてお話しいただきました。夏休み明けという時節柄、新型インフルエンザの現状やサー

ベランス方法、学級閉鎖のあり方などについて、活発な意見交換がありました。あいにくの天候でしたが、窓の外に見える雨の嵐山の美しさを堪能しながらの有意義な支部会であったことをご報告致します。

## 新型インフルエンザと急性心筋炎

葵小学校、高野中学校医

東道伸二郎

左京医師会

池田正隆

児嶋久剛

新型インフルエンザ流行の最大のピークは過ぎた感がありますが、まだまだ流行は続き、新年以後は重症例の増加が予想されます。インフルエンザの最重症合併症は急性呼吸障害、肺炎、脳症等で、症状や病気のイメージが医療人や教育関係のみならず、一般の方々にも比較的解りやすく、家庭や学校で注意深く観察することから早期発見、早期治療が可能であったことも多いようです。新型インフルエンザの診療に当たるわれわれ医師の対応や治療は夏以降の新型インフルエンザ診療の経験をもとに格段の進歩を遂げています。流行当初、診察に神経をとがらせていたものの、喘息患者を含め肺炎や呼吸不全患者の治療は診療所、病院を問わず改善し、死亡例は稀でICUに入る患者数も激減しています。脳炎/脳症合併例の頻度は多いものの季節性インフルエンザ同様極めて良好な治療成績をあげています。

心筋炎合併例においては、その予後は極めて不良で、突然死をきたす例も多いため、学校現場でも知つておく必要があり、校医ニュースで紹介するよう平位左京支部長、長村会長から連絡がありましたので、専門外ではありますが簡単に報告させていただきます。

わが国で新型インフルエンザ重症例の多発が報告されたのは沖縄が最初で、沖縄で日本の1例目の小児の心筋炎合併例が報告されております。

以下に簡単に症例を紹介いたします。(詳しくは：[www.jpeds.or.jp/influenza/influenza\\_091008.pdf](http://www.jpeds.or.jp/influenza/influenza_091008.pdf)を参照してください)。

### 心筋炎症例（11歳女児）

- ・第1病日：8月16日の朝より37.1度の発熱、咽頭痛、少量の鼻汁を認めた。
- ・同日夕方に38度に体温上昇しK病院受診。インフ

ルエンザ迅速キット陰性。食欲もあり。

- ・第2病日：8月17日に体温39-40度に上昇し咳、鼻汁あり。漫画など読んで過ごすなど活動レベルは保たれていた。
- ・第3病日：8月18日午前0時に39.8度の発熱あり解熱剤を使用した。午前3時ころ冷汗あり、両親が触ったところ冷感あり。意識は清明だった。その後トイレに行こうとしても立てず、脱力感があった。歩けないため、這って移動していた。いつもより水分は多く摂取したが食事はとれなくなっていた。父親により時々脈が触れないときもあった。午前10時に体温測定したところ35度。意識は清明だった。母が触ったところ皮膚冷感あったが本人は熱いと訴えていた。
- ・8月18日午後1時K病院受診。歩けず、車いすで受診。受診時体温34.3度意識は清明。全身冷たく、元気なく、きついと訴えた。脱水著明のため輸液1L施行・インフルエンザ迅速キットでA型陽性判明
- ・午後4時（受診後3時間）呼吸が不規則で浅くなつたがSpO<sub>2</sub>はroom airで97%だった。  
午後5時ころからバイタル著変し、プレショック状態となった。・・・・・。

ネット上の報告をそのまま張り付けたのですが、この症例を私なりに考えますと、最初は軽いかぜ様で始まり2～3日目は高熱の割に元気でした。その後、高熱でも皮膚には冷感があり、筋力低下から歩行障害をきたしています。その後は35°Cの低体温となり、大量輸液の後心不全症状が前面に出て心筋症と診断されています。

心筋炎の症状は（表1）、心症状出現の前に、発熱、頭痛、咳嗽、咽頭痛などのかぜ症状、恶心、嘔吐、腹痛、下痢等の消化器症状から始まり筋肉痛、

(表1)

心筋炎の症状
<ul style="list-style-type: none"><li>・顔色不良</li><li>・かぜ様症状：発熱、頭痛、咳、咽頭痛など</li><li>・消化器症状：悪心、嘔吐、腹痛、下痢など</li><li>・筋痛症、筋炎症状：歩行障害、起立不能など</li><li>・心症状：胸痛、失神、呼吸困難、動悸、ショック、ケイレン、チアノーゼなど</li></ul> <p>予後：極めて不良</p>

関節痛、発疹等を経て心症状を呈する、このような例が多く見られます。もちろん、無症状に経過し突然死になって剖検でインフルエンザによる心筋症と解る症例もあります。

私たち医師が救命できるのは、腹痛や嘔吐があり顔色不良に続いてフクラハギの痛み、全身の痛み、立位困難、歩行障害等の筋炎の症状がありさらに、頸脈、徐脈、不整脈、心音微弱、奔馬調律（Ⅲ音やIV音）、心膜摩擦音、収縮期雜音などが徐々に明らかになってきた症例です。

沖縄の症例は横紋筋融解症と急性腎不全で無尿になりながら救命しえた稀な症例です。

以下に新聞報道にある心筋炎を示しますが、歩行障害のような横紋筋の障害が前面に出る症例は季節性インフルエンザでは比較的軽症のB型インフルエンザに多く見られます。小児の良性の筋痛症としてこれまで取り扱い簡単に治っておりましたが、新型インフルエンザの筋痛症は急性心筋炎に繋がることも多く、注意が必要です。

#### ウェブから見た新型インフルエンザ 心筋炎例

##### (1) 死亡後に新型感染を確認 神奈川の女性、国内32人目 (10/23 21:01、10/24 11:03 更新)

神奈川県は23日、急性心筋炎の疑いで20日に死亡した同県厚木市の女性（51）の粘膜を調べたところ、新型インフルエンザへの感染を確認した、と発表した。新型インフルエンザ感染が急性心筋

炎を引き起こした可能性が高いという。基礎疾患はなかった。国内の死者は疑い例も含めて32人目。女性は13日、38度台の発熱があり、近くの病院で受診。その後、熱は下がったが、両足に力が入らないなどの症状が続いたため19日に別の病院に入院、翌20日に呼吸困難に陥って死亡した。

##### (2) 新型インフル、30代女性が死亡 栃木、国内で48人目 (11/05 17:55)

県内に住む30代女性が4日に死亡した。基礎疾患はなし。県によると、女性は10月31日昼ごろに自宅で嘔吐。同夜に救急搬送された時には既に意識がなく、42度の発熱があり心筋炎と診断された。簡易検査ではA型陰性だったが、医師が新型感染を疑いタミフルを投与。今月2日には瞳孔が開く状態となり、4日午前3時に死亡した。

##### (3) <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tochigi/news/20091106-OYT8T01064.htm>

栃木 新型インフル 県内で初の死者

##### (2) と同一例の別報道

30歳代女性 基礎疾患なし

死亡したのは、30歳代女性で、10月31日正午頃、自宅で嘔吐(おうと)し、午後8時40分頃、胸の痛みを訴えて救急車で県内の病院に運ばれた。すでに意識不明の状態で42度の発熱があり、心筋炎と診断された。インフルエンザの簡易検査では陰性だったが、医師はインフルエンザを疑い、タミフルを投与したが、4日午前3時頃に心不全で死亡した。

##### (4) 新型インフル：埼玉の中2が死亡…

基礎疾患なし

埼玉県は26日、新型インフルエンザに感染した疑いがある同県入間市の中学2年の女子生徒（13）が死亡したと発表した。県によると、基礎疾患のない10代が死亡したのは初めてという。

女子生徒は22日に発熱。簡易検査で陽性だったため、リレンザが投与された。しかし、症状は改

善せず、25日夜にウイルス性心筋炎などで死亡した。

(5) 横浜市は17日、新型インフルエンザと診断され市内の病院に入院していた市立小学校6年の男児(12)が死亡したと発表した。男児には気管支ぜんそくの既往症があったという。厚生労働省によると、新型インフルエンザによる国内の死亡例(疑い例を含む)では15人目で最年少。県内では初。死因は頭蓋内出血を起こしたこととみられ、新型インフルエンザとの因果関係は現段階では分からぬといふ。男児は今月2日午前、39度台の発熱と嘔吐があり、近くの医院で簡易検査を行ったが陰性。夕方にぜんそくの症状があつたため、市内の病院を受診したが、落ち着いたため帰宅した。3日未明に再び熱が40度まで上がり、意識がもうろうとしたため前日受診した病院に入院。心臓の筋肉が炎症を起こす心筋炎と診断され、集中治療室(ICU)での治療が続けられた。14日に遺伝子検査で新型インフルエンザの感染が確認され、17日午後5時50分に死亡が確認された。

市によると、男児にはインフルエンザ治療薬のタミフルなどは投与されていなかった。

(6) 新型インフル 死者10人に[job.yomiuri.co.jp/news/ne\\_09090303.htm](http://job.yomiuri.co.jp/news/ne_09090303.htm)

京都府は2日、新型インフルエンザに感染していた京都府木津川市の男性(69)が死亡したと発表した。京都府によると、木津川市の男性は慢性的の呼吸器疾患と心疾患があつたといふ。死因はウイルスなどが関係する劇症型心筋炎とみられ、府は「インフルエンザが心筋炎を引き起こした可能性がある」としている。

(7) (4)と同一例の別報道

埼玉県は26日、新型インフルエンザに感染した疑いのある同県入間市の中学2年の女子生徒(13)が25日に死亡したと発表した。埼玉県によると、女子生徒の死因はウイルス性心筋炎などに

よる心停止で基礎疾患はなかった。22日に発熱し学校を早退。リレンザの投与を受けた。

(8) 福岡県久留米市は20日、新型インフルエンザ感染が確認された市内の無職の女性(66)が心筋炎で死亡したと発表。女性には、ぜんそくと慢性的閉塞肺疾患があつた。女性は12日に息苦しさを訴えて市内の医療機関で受診。意識障害などに陥ったため、集中治療室(ICU)でタミフル投与などを続け、18日には一時改善したが、20日未明に急変、午前10時半ごろ亡くなつた。

(9) 新型インフル、中2女子が死亡=院内感染の疑いもー山口

山口県は22日、周南市の中学2年の女子生徒が新型インフルエンザに感染し、死亡したと発表した。気管支ぜんそくなどの基礎疾患のため入院した後に発症しており、院内感染の疑いもあるとみて調べている。

県健康増進課によると、生徒は今月16日、持病の治療のため同市内の病院に入院、20日に発熱しリレンザを投与された。21日前に容体が急変し、午後0時50分に急性心筋炎による心不全のため死亡した。(2009/11/22-12:36)

以上の新型インフルエンザ関連で死亡した症例や季節型インフルエンザ症例から見ると、新型インフルエンザに合併した心筋炎は入院治療や適切な抗インフルエンザ薬(タミフル、リレンザ)が投与された例でも死亡する重症疾患ですが、症状悪化までに時間的余裕のある症例もあり、症状から見た早期発見・早期治療ができる症例では救命できる可能性があると考えるだいです。

(今回のニュースは11月8日(日)グランドプリンスホテルで行われた京都市学校医会左京支部会で話題提供した内容の一部です。マスコミ報道の内容は、左京医師会 池田正隆先生が毎朝8時30分に配信下さる左京医師会ネットの記事から選びました。)

## 第40回全国学校保健・学校医大会に参加して（第2分科会報告）

会長 長村吉朗

広島市で開催されました第40回全国学校保健・学校医大会（第2分科会）の概要を報告いたします。

### 第2分科会 「からだ・こころ2」

座長 広島県小児科医会理事 西 美和  
司会 広島県小児科医会理事 森 美喜夫

1. 学校腎臓病検診の広域標準化に向けた九州沖縄の取り組み 鹿児島県医師会 二宮 誠
2. 運動負荷が腎臓病児の尿所見に与える影響 京都府医師会 本田 有衣子
3. 学校検尿25年間の軌跡 茨城県医師会 大場 正二
4. 愛知の小児慢性腎臓病(CKD)対策  
－”愛知県腎臓病学校検診マニュアル”的発行に当たって－ 愛知県医師会 細川 秀一
5. 愛知県の学校心臓検診での問題点と解決策 愛知県医師会 繁瀬 雅明
6. 東京都立高等学校における学校心臓検診21年のまとめと考察 東京都医師会 弓倉 整

### 7. 学校における運動器検診の実施について

宮崎県医師会 山本 恵太郎

### 8. 小児科医のたからもの

－医学生を学校検診に連れて行こう－

岩手県医師会 三浦 義孝

### 9. 小児生活習慣病予防検診を利用した小学5年生アレルギー疾患実態調査

滋賀県医師会 楠 隆

### 10. 大阪府におけるアレルギー疾患有する児童生徒の実態調査－気管支喘息について－

大阪府医師会 亀田 誠

以上が当日の演題で、その中で第2演題に学校医会で行っている腎臓相談のまとめが市立病院本田先生により発表されました。相談の実施主体や費用負担などと共に主治医との意見が異なる場合の対応などの質問がありました。又本年は発表が多く「からだ・こころ」の分科会が当初予定の2つから3つに変更されていました。

## 第3分科会 こころ・健康教育に参加して

副会長 平位 喜七郎

試み －東広島市での3年間の取り組み－

広島県 杉原 雄三

### 6. 発達障害を抱える子どもたちへの外来での社会生活訓練

埼玉県 平岩 幹男

### 7. 小・中学校におけるメディア環境がコミュニケーション能力や睡眠障害、肥満へ及ぼす影響について

秋田県 小泉ひろみ

### 8. 小学校時代に仲間関係が崩壊した学年の中学校での人間関係の再構築

三重県 長尾 圭造

### 9. 学校欠席者迅速把握サーベイランスの構築－学校現場と学校医の連携システムの紹介－

島根県 杉浦 弘明

### 10. 周産期からの子ども虐待予防の全県的取り組み

徳島県 二宮 恒夫

1. 喫煙・飲酒に対する意識調査 山梨県 島田 和哉
2. 佐賀県における学校医による小・中学校での防煙教育 佐賀県 徳永 剛
3. 地域医師会による学校における喫煙防止対策について－学校医による喫煙防止出前授業を中心－ 和歌山県 家永 信彦
4. 広島市学校医部会のあゆみと取り組み 広島県 村木幸太郎
5. 就学児健診における発達障害スクリーニングの

## 11、小学生両親の10代の性教育についてのアンケート調査 山形県 山本 弘史

今回の発表されたテーマは、従来多かった不登校・いじめ・発達障害という問題から離れて、最近の児童・生徒の大多数が直面している喫煙、酒、メディア、仲間関係性の逸脱問題が多く取り上げられたことが目につきました。

特に喫煙問題は、学校医が直接学校の要望に応えてことばを入れて作成されたスライドを利用してタバコの害を訴えることにより効果があったことが報告されていました。

性の問題は子どもの行動に無関心・放任主義の親

が余りにも多いことがアンケートで浮き彫りにされました。

発達障害のテーマでは就学児童健診よりも5才児健診で問診票が非常に役立つ報告がありました。

発達障害問題では6席目に有名な平岩氏がユニークな発表をされていました。それは発達障害には根本的な薬物治療はないので、学校を含めた社会生活上の困難に対しては適切な社会生活訓練（Social skills training : SST）を行うことが有効であるというが発表でした。これは今後京都で行っているワントピント相談に大変参考になるものです。

## 第40回全国学校保健・学校医大会、午後の部の報告

副会長 奥 村 正 治

午後の部のトップバッターは、シンポジウムである。テーマは「学校現場における救急体制」—学校で子どもが突然倒れたらーの表題で、5人の先生方の話しではじまった。最初の基調講演は「安全な学校のために：事故防止対策中心に」という事で、広島大学の小児科学教授小林正夫先生の話しであった。

本年4月よりの学校保健安全法の法の改正点の話題が中心になり、学校医を長年経験している者にとっては、同じ様な話ととなり、導入としては少も物たりない感がした。シンポジストの方々は、

1) 学校救急体制の確立と養護教諭の役割

養護教諭 沖西紀代子

2) 学校医は何ができるのか？ 何をするべきか？

学校医 渡辺 弘司

3) 学校における救急搬送状況について

救急担当部長 山下 聰

4) 地域で作るセイフティーネット：救急医療現場から 広島大学救急医学教授 谷川 攻一

以上の方々で各々の立場からのお話しであった。我々の校医の立場から渡辺先生がお話し下さったが、テーマの学校で子どもが突然倒れたらという事はほとんどの場合、その現場に校医が出会う事はない。なぜなら倒れた時にたまたま校医が学校に何かの用事で行っているという条件が必須となる。それなら、1)診療中に連絡が来る。2)診療所と学校の遠い近

いがあるが、倒れた人を運んで来る。3)救急搬送し、その後連絡が来るといった形態のどれかである。いずれにせよ、校医が診療を中止し、学校へ出向く事は不可能に近い事があるので、実際の救急医療の能力と云うよりは、実際救急が必要となる様な場面が出来た事を想定し、教職員に指導をする事が仕事の様であります。又、学校によっては、色々の疾患の為ハイリスクに属する児童生徒が在籍する場合には、よりこまめな指導が必要となって来る。という話しであった。

それぞれの御立場の話はよく理解出来たが、シンポジウムとして1つの提言がまとまったわけではなく、1つ1つは重要な発言ではあったが、まとめには1つ欠けていた感がした。

次に特別講演があり、広島の茶道上田宗箇流家元、上田宗閑（うえだそうけい）氏の講演であった。

400年ほど前より、茶道の家元でもあったが、茶碗、茶入、竹花入、茶杓等の創作もし、又、別わくと云うわけではないが、作庭家としても名があった様で、江戸時代の建物等をここ30年ほどかけ再建\*をなさった様で、書院建築、庭園、茶寮和風堂、露地等が代表である。今回の発表者、本田有衣子先生と上司の川勝秀一先生はお話の前に現地に行ってこれ「すばらしいですよ」と話して下さいました。

\*（広島城内上田家上屋敷）

## 第7回 常任理事会

平成21年12月12日  
於 事務局

**出席者** 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、竹内・井本・大久保・杉本各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医会理事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 左京支部会 11/8  
宝ヶ池グランドプリンスホテル 8名参加  
新支部長 東道氏
2. 第59回全国学校保健研究大会 11/11  
長村、星谷出席 於：広島市
3. 精神衛生研究会 11/12 9名参加
4. 第40回全国学校保健・学校医大会 11/14  
今月号参照
5. 色覚相談 11/24 市内 2名
6. 第63回指定都市学校保健協議会第1回準備委員会  
11/24 平成23年5月京都市が主催  
学校医会から 6名の準備委員
7. 京都市学校保健会研究発表会・表彰式 11/28  
於：総合教育センター
8. 京都市学校保健会表彰祝賀会・懇親式 11/28  
於：京都ロイヤルホテル&スパ
9. 第58回近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
11/29 京都市のⅢ期MRワクチン集団接種について 奥村発表
10. 腎臓相談 12/1 2名（1名は安静時蛋白尿が目立ったが、運動による増悪はなし）
11. アレルギー相談 12/1
12. 感染症・予防接種フォーラム 12/5  
於：アバンティホール 日本小児科学会主催
13. 京都市小学生駅伝競走記録会 12/6
14. 精神衛生研究会 12/10 9名参加  
「発達障害の子どもたち」抄読
15. その他

### <協議事項>

1. MR集団接種の結果について
2. 色覚相談について  
事前に眼科受診を必要とするが、経済的理由で受診しないとする家族の扱いについて
3. 第24回京都市小学校「大文字駅伝大会」出務医について
4. 大文字駅伝大会事前整形外科検診について  
「運動器の10年」の事業が終了するが、今後とも検診を継続 出務費の扱いについて
5. 新型インフルエンザについて
6. 平成22年度京都市学校医会総会講師について  
平成22年4月17日 玉乃光酒造の宇治田氏
7. 感染症講演会講師について  
平成22年3月6日 於：京都国際ホテル
8. 仮決算について
9. 賞与支給について
10. その他  
学校から救急以外で、病院を紹介する時、校医からの紹介状があれば、特定療養費の算定とならない

### <関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 12/15
2. ワンポイント相談 12/24
3. 京都府歯科医師会「平成22年新年互礼会」  
1/6
4. 第8回常任理事会 1/9 5:00 p m～ 栎屋

※ 12月号は頁数が多い為、連載の「中国学校医事情（その7）」は、次号に連載の予定です。なお、その続きが気になられる方は、事務局の方に原稿がござますので、お気軽にお立ち寄りの上、ご拝読ください。